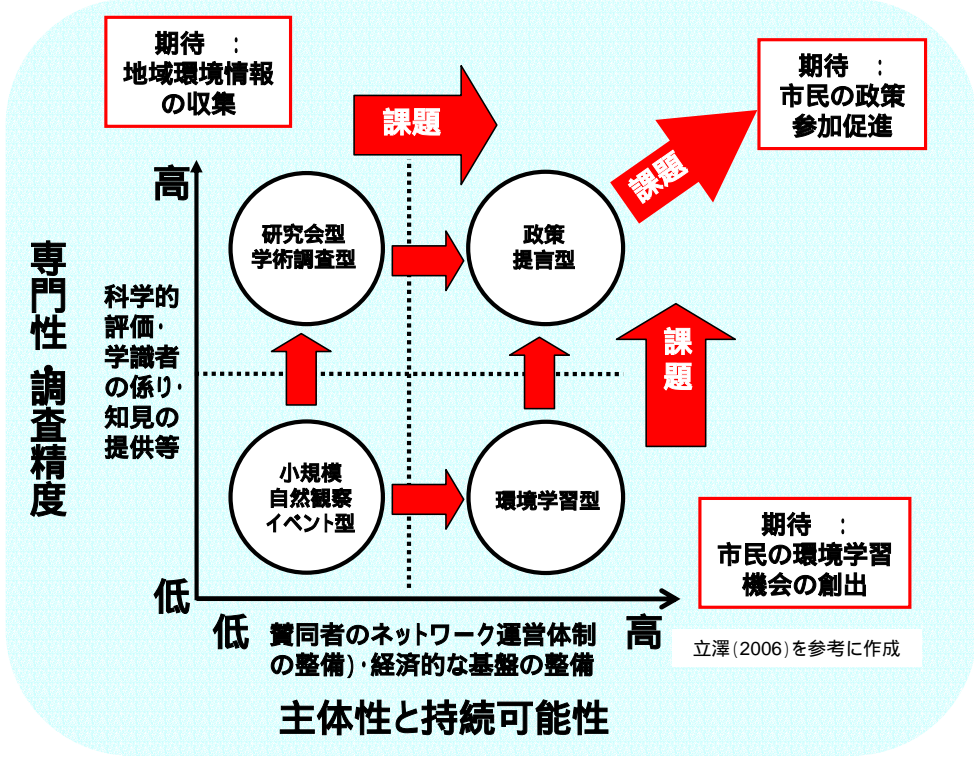


老若男女 誰もを国土環境モニタリングスタッフ に進化させる新ツールの提案

グリーンフロント研究所(株):小串重治

1. 背景・・・市民調査への期待・進化プロセス・課題



課題 : 調査精度の確保
(環境情報:位置と時間)
(生物情報:種同定・環境測定)

課題 : 社会貢献性の確保
(持続的・科学的な調査の実施)

市民調査のねらいの設定と効果の関係

環境学習が中心の調査 → 地域環境情報収集が中心の調査

環境学習効果 ↓ 地域環境情報

データの精度 低い ← 期待 → 高い

対応可能な人数 多い ← 期待 → 少ない

気ままさ・自由度 多い ← 期待 → 少ない

須田(2007)の一部を改変

課題 : 1)順応管理手法の導入による
仮説検証型プロジェクトの実現
2)市民調査結果を受け入れる
行政制度設計の確立

< 検討課題 > 一定の調査精度(位置・時間)と市民の調査協力に係わるモチベーションの双方を維持した市民調査を実現したい!!

2. 徳島県海部郡における狩猟者による市民調査の試行

1. 調査地・調査概要



事前協議
(依頼可能な項目の抽出と
説明会 デジカメ講座)

中間報告
(調査結果(地図)の提示)

目標

- 各種対策の効果検証に利活用可能な精度を有する、基礎情報の収集(評価単位:2週間・1kmメッシュ)
- 調査協力・モチベーションの維持 あるいは 向上をもたらす

鳥獣害対策マスター(20人:猟友会員)への依頼

- 調査時、**ハンディGPSを携帯して、指定範囲を5時間/2週間以上踏査する**
- 鳥獣害被害確認箇所や直接的な鳥獣目撃箇所を**デジタルカメラで撮影、隊員記録をつける**

調査努力量の均質化/確認密度のデータ化

位置座標の確認と環境状況の記録双方のために実施

専用の隊員手帳を配布。2週間毎情報交換。

2. 調査結果・評価(2009年7~9月)

< 調査実績 >

調査メッシュ:のべ4281メッシュ(1人あたりのべ203メッシュ)
実数:927メッシュ(32.9% / 海部郡:2817メッシュ)

鳥獣被害確認メッシュ のべ188メッシュ(実数:181メッシュ)

鳥獣被害確認地点 のべ271地点

被害報告数 288(有効データ率 94.1%)

< 調査協力・モチベーションの維持・・・維持~改善できた >

Q1:次年度も協力は可能? 85% Yes

Q2:集落内で会話が aumentata? 74% Yes

Q3:鳥獣害対策提案がある? 60% Yes

< コスト評価 > 4000メッシュ(10km²)に要する調査予算(概算)

- 専門コンサルタントへ委託 約 ¥1,700,000(弊社・積算)
- 狩猟者への協力依頼 ¥15,000 × 21人 + 指導費 + GPSなどレンタル代金 約 ¥520,000

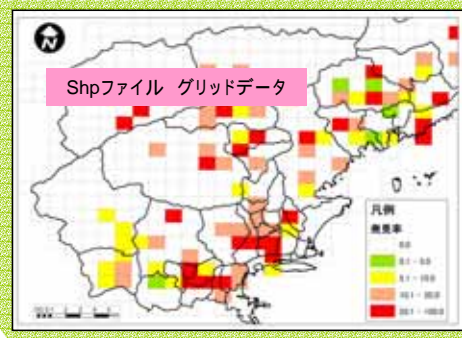
3. 課題 情報の収集・整備の過程の簡略化はできないか?

3. ケータイ電話・ハンディGPSを利用した市民調査の取り組み事例



ふるさとフォトメモリ・モニタリングサイトを活用効果!!

- (1)位置情報の正確さを維持し、低コストでのシステム運用が可能!!
- (2)ケータイ情報収集により工程の大幅短縮が可能!!
- (3)対話形式のデータ報告形式の取り入れ 市民の協力を得やすく!!
- (4)独自の質問項目の設定 情報整理に係わる作業の簡略化が可能!!
- (5)調査結果速報など、HPでの迅速な情報公開も可能!!



写真データのみを表示する事例

研究員: 報告: 2010.04.10. 14:40
岡山県真庭市、
「春の小川」をイメージする景色でした。

写真データのみを表示する事例

研究員: 報告: 2010.06.10. 10:25
これぞ「ふるさと」と感激しました。紅葉の時期にもう1度行こうと思います。

残されている課題

- (1)必要に応じた収集情報のマスク処理をどうする?
- (2)プロジェクトを通じた参加者の絆の深化が妨げられる?



ハンディGPS

調査ルート軌跡情報を整備することも可能。さらに、調査努力量あたりの確認状況を整理することも可能!!

4. 各種市民調査に貢献する準備・進化中...ふるさとフォトメモリ



お問い合わせ
グリーンフロント研究所 株式会社
愛知県岡崎市稲能町山神戸7-12
kogushige@gfken.com <担当:小串(こぐし)>

参考文献

- ・立澤史郎(2006)政策提言型市民調査はなぜ失敗したか? ~野生生物保全分野の経験から~、環境社会科学研究12, 33-47.
- ・須田真一(2007)市民参加の昆虫モニタリング:「自然再生のための生物多様性モニタリング」驚谷いづみ・鬼頭秀一編、東京大学出版会、東京、158-172.